

# 平成 24 年度 事業報告書・決算報告書

公益財団法人福武学術文化振興財団

# 平成 24 年度事業報告・決算報告

## I. 事業の状況

今年度は、例年どおり、瀬戸内海文化研究・活動支援助成に向けた募集活動を進めました。平成 24 年 9 月末時点で 115 件の応募があり、選考の準備を進めておりましたが、平成 24 年 10 月 1 日、当法人は、公益財団法人文化・芸術による福武地域振興財団とともに、公益財団法人直島福武美術館財団（存続法人）に吸収合併され、同日付で合併消滅法人となっております。なお、当法人の事業は、そのまま、存続法人（公益財団法人福武財団に名称変更）に引き継がれ、継続されます。

### 1) 瀬戸内海文化研究・活動支援助成事業

□地域の固有性と多様性を持って持続的な発展をとげてきた瀬戸内海地域に焦点を当て、その「文化力」の向上と地域づくりに貢献する調査・研究や活動に対し助成準備を行った。

・助成対象内容：

- i) 瀬戸内海地域の「文化力」を持続的・発展的に高めるための、人文・社会・自然諸科学に関する調査・研究、及びそれらの融合された分野に対する調査・研究への助成。
- ii) 瀬戸内海地域の「文化力」向上のための活動への助成。
- iii) 瀬戸内海地域の「文化力」向上のための学会・研究集会、講演会、展覧会、演奏会等の開催への助成、援助。

・助成対象者：原則制限なし（個人・団体可）

・助成金額：上限 1 件 100 万円（平成 24 年度予算 合計 2,500 万円）

・応募方法：応募要項をホームページ等に掲載し広く一般に周知する。応募書類は郵送にて受付。

・選考方法：瀬戸内海文化研究・活動支援委員会にて選考の上、理事会で決定。

・公表方法：助成対象者とその成果については、ホームページ上での掲載や瀬戸内海文化助成発表大会の開催等により広く一般に公表。また、過去の助成についても、検索データベースをホームページ上で公開。

□応募状況

・平成 24 年 9 月 29 日に公募を締め切りました。応募総数は、115 件（前年 84 件）で、内訳は次のとおりとなっております。

- i) 調査・研究への助成：66 件（前年 55 件）
- ii) 活動への助成：38 件（前年 24 件）
- iii) 学会・集会への助成：11 件（前年 5 件）

□今後の予定（公益財団法人福武財団が事業継続）

- ・平成 24 年 10 月：瀬戸内海文化研究・活動支援委員会へ書面審査依頼発送
- ・平成 24 年 12 月：選考会議の実施
- ・平成 25 年 3 月：理事会にて助成案決議
- ・平成 25 年 3 月：助成の実行

## 2) 瀬戸内国際シンポジウムの開催

□平成 25 年度開催予定の「瀬戸内国際シンポジウム 2013」の企画を進めたが、平成 24 年 9 月 30 日時点では、開催準備は未実施。シンポジウム開催準備費として計上していた予算は、特定事業引当資産への計上に回した。

以上の結果、当財団の平成 24 年度事業費は 15,420 千円、管理費 8,251 千円であった。

## II. 処務の概要

### 1) 役員等に関する事項

(平成 24 年 9 月 30 日現在)

職名	氏名	常勤・非常勤	就任年月日	重任年月日	担当業務	現職
理事長	福武總一郎	非常勤	S60. 6. 10	H23. 6. 19	業務の統括	㈱ベネッセホールディングス取締役会長
理事	北島 義俊	非常勤	S60. 6. 10	H23. 6. 19		大日本印刷㈱代表取締役社長
理事	西川 治	非常勤	S60. 6. 10	H23. 6. 19		東京大学名誉教授
理事	石田 寛	非常勤	S60. 6. 10	H23. 6. 19		広島大学名誉教授
理事	河野 孝守	非常勤	S60. 6. 10	H23. 6. 19		元会社役員
理事	西崎 清久	非常勤	H5. 6. 10	H23. 6. 19		財)日本オペラ振興会理事
理事	山崎 光雄	非常勤	H7. 6. 10	H23. 6. 19		共立女子学園監事
理事	吉田 榮夫	非常勤	H13. 6. 10	H23. 6. 19		財)日本極地研究振興会理事長
理事	樺山 紘一	非常勤	H17. 6. 10	H23. 6. 19		東京大学名誉教授
理事	中村 泰三	非常勤	H17. 6. 10	H23. 6. 19		元日本ネットワーク開発㈱代表取締役社長
理事	清成 忠男	非常勤	H19. 6. 12	H23. 6. 19		法政大学学事顧問・名誉教授
理事	福武 英明	非常勤	H21. 6. 18	H23. 6. 19		㈱efu 取締役
監事	宮代 力	非常勤	H18. 3. 3	H23. 6. 19		あさひ法律事務所顧問弁護士
監事	尾尻 哲洋	非常勤	H18. 3. 3	H23. 6. 19		辻・本郷税理士法人特別顧問

なお、平成 24 年 9 月 30 日現在の評議員数は 16 名、選考委員数は 20 名です。

## 2) 職員に関する事項

(平成 24 年 9 月 30 日現在)

職名	氏名	常勤・非常勤	就任年月日	担当業務	報酬	備考
事務局長	島内 行夫	常勤	H13.04.01	業務の総括・企画	有	(株)ベネッセコーポレーションより出向
職員	廣石 由加	常勤	H18.12.01	事務局長補佐、編集	有	(株)ベネッセコーポレーションより出向
職員	橋本 律子	常勤	H18.04.01	庶務、会計	有	契約職員

## 3) 会議等に関する事項

## ①. 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 24 年 5 月 18 日	□第 93 理事会 (会議の省略) 平成 23 年度事業報告・決算報告承認の件 三財団の吸収合併契約書承認の件 定時評議員会開催承認の件	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決
平成 24 年 6 月 14 日	□第 94 理事会 合併届出 (内閣府への電子申請) 承認の件 議決権行使承認の件 理事及び監事の報酬額及び支給承認の件 代表理事、業務執行理事の職務執行状況について	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 代表理事及び業務執行理事より報告

## ②. 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 24 年 6 月 14 日	□第 61 回評議員会 平成 23 年度事業報告・決算報告承認の件 三財団吸収合併契約書承認の件 評議員の報酬額及び支給承認の件 理事及び監事の報酬総額承認の件	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決

4) 許可、認可、承認、証明等に関する事項

申請年月日	申請事項	許可等年月日	備考
該当なし			

5) 契約に関する事項

契約年月日	契約相手先	契約の概要
平成 24 年 6 月 1 日	財団法人直島福武美術館財団 財団法人文化・芸術による福武地域振興財団	合併契約

6) 寄附金に関する事項

寄付年月日	相手先	寄付目的	寄付金額	備考
該当なし				

7) 行政庁（内閣府）からの指示事項

指示年月日	指示事項	履行状況
該当なし		

8) 税法上の収益事業の有無

該当なし

9) その他重要事項

該当なし

平成 24 年度決算報告書（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）

I. 貸借対照表

II. 正味財産増減計算書

III. 正味財産増減計算書内訳表

IV. 財務諸表に対する注記

V. 附属明細書

VI. 財産目録

VII. 収支計算書

※ 「監査報告書」

# I. 貸借対照表（平成24年9月30日現在）

（単位：円）

科 目	当年度 (平成24年9月30日)	前年度 (平成24年3月31日)	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	7,278,347	7,102,213	176,134
流動資産合計	7,278,347	7,102,213	176,134
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	3,534,030,400	3,873,310,970	△ 339,280,570
定期預金	29,000,000	29,000,000	0
普通預金	176,525,167	153,857,138	22,668,029
基本財産合計	3,739,555,567	4,056,168,108	△ 316,612,541
(2) 特定資産			
特定事業引当資産			
普通預金	55,931,310	34,000,000	21,931,310
特定資産合計	55,931,310	34,000,000	21,931,310
(3) その他固定資産			
電話加入権	145,600	145,600	0
その他固定資産合計	145,600	145,600	0
固定資産合計	3,795,632,477	4,090,313,708	△ 294,681,231
資産合計	3,802,910,824	4,097,415,921	△ 294,505,097
II 負債の部			
預り金	100	309,708	△ 309,608
負債合計	100	309,708	△ 309,608
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,795,486,877	4,090,168,108	△ 294,681,231
(うち基本財産への充当額)	( 3,739,555,567 )	( 4,056,168,108 )	( △ 316,612,541 )
(うち特定財産への充当額)	( 55,931,310 )	( 34,000,000 )	( 21,931,310 )
2. 一般正味財産	7,423,847	6,938,105	485,742
正味財産合計	3,802,910,724	4,097,106,213	△ 294,195,489
負債及び正味財産合計	3,802,910,824	4,097,415,921	△ 294,505,097

## Ⅱ. 正味財産増減計算書（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

（単位：円）

科 目	当年度 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)	前年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	[ 24,141,382 ]	[ 85,772,211 ]	[ △ 61,630,829 ]
基財受取利息振替	2,467,692	8,562,211	△ 6,094,519
基財受取配当振替	21,673,690	77,210,000	△ 55,536,310
②特定資産運用益	[ 0 ]	[ 6,010 ]	[ △ 6,010 ]
特産受取利息振替	0	6,010	△ 6,010
③雑収益	[ 15,280 ]	[ 196,906 ]	[ △ 181,626 ]
受取利息	15,280	926	14,354
雑収益	0	195,980	△ 195,980
経常収益計	24,156,662	85,975,127	△ 61,818,465
(2) 経常費用			
① 事業費	[ 15,420,382 ]	[ 71,801,920 ]	[ △ 56,381,538 ]
支払助成金	0	44,160,000	△ 44,160,000
歴史学地理学助成費	( 0 )	( 23,460,000 )	( △ 23,460,000 )
瀬戸内海支援費	( 0 )	( 20,000,000 )	( △ 20,000,000 )
次世代教育支援費	( 0 )	( 700,000 )	( △ 700,000 )
印刷製本費	2,369,482	2,065,196	304,286
記念事業費	0	0	0
給料手当	5,634,159	11,715,812	△ 6,081,653
福利厚生費	399,086	1,609,373	△ 1,210,287
旅費交通費	2,264,411	2,553,180	△ 288,769
通信運搬費	80,611	205,580	△ 124,969
消耗品費	98,817	257,075	△ 158,258
賃借料	127,296	254,592	△ 127,296
諸謝金	1,115,000	2,307,097	△ 1,192,097
会議費	1,350,190	3,318,428	△ 1,968,238
委託費	1,726,541	2,315,347	△ 588,806
図書新聞費	35,240	106,105	△ 70,865
広告宣伝費	11,641	861,650	△ 850,009
雑費	207,908	72,485	135,423
② 管理費	[ 8,250,538 ]	[ 9,279,234 ]	[ △ 1,028,696 ]
役員報酬	4,350,000	0	4,350,000
給料手当	1,408,539	2,928,953	△ 1,520,414
福利厚生費	99,771	402,342	△ 302,571
会議費	788,471	1,685,605	△ 897,134
旅費交通費	86,060	143,140	△ 57,080
通信運搬費	44,928	83,617	△ 38,689
消耗品費	24,613	64,268	△ 39,655
賃借料	31,824	63,648	△ 31,824
諸謝金	1,191,276	3,553,712	△ 2,362,436
研究研修費	213,580	281,129	△ 67,549
減価償却費	0	63,000	△ 63,000
雑費	11,476	9,820	1,656
経常費用計	23,670,920	81,081,154	△ 57,410,234
評価損益等調整前当期経常増減額	485,742	4,893,973	△ 4,408,231
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	485,742	4,893,973	△ 4,408,231
当期一般正味財産増減額	485,742	4,893,973	△ 4,408,231
一般正味財産期首残高	6,938,105	2,044,132	4,893,973
一般正味財産期末残高	7,423,847	6,938,105	485,742



(単位：円)

科 目	当年度 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)	前年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	増 減
II 指定正味財産増減の部			
基財受取利息	2,467,692	9,234,640	△ 6,766,948
基財受取配当金	43,605,000	87,210,000	△ 43,605,000
特資産受取利息	0	6,010	△ 6,010
当期基本財産評価益	0	643,127,750	△ 643,127,750
当期基本財産評価損	316,612,541	0	316,612,541
一般正味財産への振替額	△ 24,141,382	△ 85,778,221	61,636,839
当期指定正味財産増減額	△ 294,681,231	653,800,179	△ 948,481,410
指定正味財産期首残高	4,090,168,108	3,436,367,929	653,800,179
指定正味財産期末残高	3,795,486,877	4,090,168,108	△ 294,681,231
III 正味財産期末残高	3,802,910,724	4,097,106,213	△ 294,195,489

### Ⅲ. 正味財産増減計算書内訳書（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1	合計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	[ 15,420,382 ]	[ 15,420,382 ]	[ 8,721,000 ]	[ 0 ]	[ 24,141,382 ]
基財受取利息振替	2,467,692	2,467,692			2,467,692
基財受取配当振替	12,952,690	12,952,690	8,721,000		21,673,690
③ 雑収益	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 15,280 ]	[ 0 ]	[ 15,280 ]
受取利息		0	15,280		15,280
経常収益計	15,420,382	15,420,382	8,736,280	0	24,156,662
(2) 経常費用					
① 事業費	[ 15,420,382 ]	[ 15,420,382 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 15,420,382 ]
印刷製本費	2,369,482	2,369,482			2,369,482
記念事業費	0	0			0
給料手当	5,634,159	5,634,159			5,634,159
福利厚生費	399,086	399,086			399,086
旅費交通費	2,264,411	2,264,411			2,264,411
通信運搬費	80,611	80,611			80,611
消耗品費	98,817	98,817			98,817
賃借料	127,296	127,296			127,296
諸謝金	1,115,000	1,115,000			1,115,000
会議費	1,350,190	1,350,190			1,350,190
委託費	1,726,541	1,726,541			1,726,541
図書新聞費	35,240	35,240			35,240
広告宣伝費	11,641	11,641			11,641
雑費	207,908	207,908			207,908
② 管理費	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 8,250,538 ]	[ 0 ]	[ 8,250,538 ]
役員報酬			4,350,000		4,350,000
給料手当			1,408,539		1,408,539
福利厚生費			99,771		99,771
会議費			788,471		788,471
旅費交通費			86,060		86,060
通信運搬費			44,928		44,928
消耗品費			24,613		24,613
賃借料			31,824		31,824
諸謝金			1,191,276		1,191,276
研究研修費			213,580		213,580
減価償却費			0		0
雑費			11,476		11,476
経常費用計	15,420,382	15,420,382	8,250,538	0	23,670,920
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	485,742	0	485,742
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	485,742	0	485,742
当期一般正味財産増減額	0	0	485,742	0	485,742
一般正味財産期首残高	0	0	6,938,105	0	6,938,105
一般正味財産期末残高	0	0	7,423,847	0	7,423,847
II 指定正味財産増減の部					
基財受取利息	2,467,692	2,467,692			2,467,692
基財受取配当金	34,884,000	34,884,000	8,721,000		43,605,000
当期基本財産評価損	253,270,541	253,270,541	63,342,000		316,612,541
一般正味財産への振替額	△ 15,420,382	△ 15,420,382	△ 8,721,000		△ 24,141,382
当期指定正味財産増減額	△ 231,339,231	△ 231,339,231	△ 63,342,000	0	△ 294,681,231
指定正味財産期首残高	3,332,818,108	3,332,818,108	757,350,000	0	4,090,168,108
指定正味財産期末残高	3,101,478,877	3,101,478,877	694,008,000	0	3,795,486,877
III 正味財産期末残高	3,101,478,877	3,101,478,877	701,431,847	0	3,802,910,724

#### IV. 財務諸表に対する注記

##### 1) 継続事業の前提に関する注記

当法人及び公益財団法人文化・芸術による福武地域振興財団は、平成 24 年 10 月 1 日、公益財団法人直島福武美術館財団（合併存続法人）に吸収合併され、合併消滅法人となっている。また、同日、合併存続法人は公益財団法人福武財団に名称変更を行っている。当法人の事業は、合併存続法人に引き継がれ、継続されている。

##### 2) 重要な会計方針

###### (1) 会計基準について

当事業年度から「公益法人会計基準」（平成 20 年 4 月 11 日 平成 21 年 10 月 16 日改正）を適用している。

###### (2) 有価証券の評価基準及び評価方法について

市場価格のあるものは時価法を採用している。

満期保有目的の債券 … 償却原価法（定額法）によっている。

###### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

##### 3) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	3,873,310,970	0	339,280,570	3,534,030,400
定期預金	29,000,000	0	0	29,000,000
普通預金	153,857,138	22,668,029	0	176,525,167
小計	4,056,168,108	22,668,029	339,280,570	3,739,555,567
特定資産				
助成事業引当資産	34,000,000	21,931,310	0	55,931,310
小計	34,000,000	21,931,310	0	55,931,310
合計	4,090,168,108	44,599,339	339,280,570	3,795,486,877

4) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対する額)
基本財産				
投資有価証券	3,534,030,400	(3,534,030,400)	(0)	-
定期預金	29,000,000	(29,000,000)	(0)	-
普通預金	176,525,167	(176,525,167)	(0)	-
小計	3,739,555,567	(3,739,555,567)	(0)	-
特定資産				
助成事業引当資産	55,931,310	(55,931,310)	(0)	-
小計	55,931,310	(55,931,310)	(0)	-
合計	3,795,486,877	(3,795,486,877)	(0)	-

5) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし。

6) 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価格	時価	評価損益
MHAM豪ドル債券ファンド毎月決算	53,990,400	36,091,200	△ 17,899,200
第16回三菱東京UFJ銀行 期限前償還条項付社債	10,000,000	10,237,700	237,700
合計	63,990,400	46,328,900	△ 17,661,500

7) 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収支への振替額	
目的達成による指定解除額	24,141,382
合 計	24,141,382

8) 関連当事者との取引の内容

該当なし。

## V. 付属明細書

### 1) 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	3,873,310,970	0	339,280,570	3,534,030,400
	定期預金	29,000,000	0	0	29,000,000
	普通預金	153,857,138	22,668,029	0	176,525,167
	基本財産計	4,056,168,108	22,668,029	339,280,570	3,739,555,567
特定資産	助成事業引当資産	34,000,000	21,931,310	0	55,931,310
	特定資産計	34,000,000	21,931,310	0	55,931,310

## VI. 財産目録（平成 24 年 9 月 30 日現在）

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金	普通預金 三菱東京UFJ銀行多摩センター支店	運転資金として	7,278,347
流動資産合計				7,278,347
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	パナソニック・インフォメーション発行株式	公益目的保有財産であり、公益目的事業、管理業務で使用している共有資産である	3,470,040,000
		MHAM豪ドル債券ファンド 毎月決算他	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	63,990,400
	定期預金	みずほ銀行多摩センター支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	29,000,000
	普通預金	大和証券	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	20,003,857
		みずほ銀行多摩センター支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	68,786,768
		三菱東京UFJ銀行多摩センター支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	15,812,206
		三井住友銀行多摩センター支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	25,417,584
		みずほインバスターズ証券新百合ヶ丘支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	46,504,752
特定資産	特定事業引当資産	普通預金 みずほ銀行	寄付者により公益目的事業に用途が制限されている財産である	55,931,310
その他固定資産	電話加入権	番号 042-356-0810 番号 042-337-0090	管理業務で使用している	145,600
固定資産合計				3,795,632,477
資産合計				3,802,910,824
(流動負債)				
	預り金	住民税預り金	従業員からの預り金である	100
流動負債合計				100
負債合計				100
正味財産				3,802,910,724

Ⅶ-1. 収支計算書（正味財産増減計算書ベース）

（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

（単位：円）

科 目	予算額 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	決算額 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[ 70,870,000 ]	[ 24,141,382 ]	[ 46,728,618 ]
基財受取利息振替	9,000,000	2,467,692	6,532,308
基財受取配当振替	61,870,000	21,673,690	40,196,310
③ 雑収益	[ 0 ]	[ 15,280 ]	[ △ 15,280 ]
受取利息	0	15,280	△ 15,280
経常収益計	70,870,000	24,156,662	46,713,338
(2) 経常費用			
① 事業費	[ 60,940,000 ]	[ 15,420,382 ]	[ 45,519,618 ]
瀬戸内海支援費	25,000,000	( 0 )	( 25,000,000 )
瀬戸内国際シンポジウム2013の準備活動費	5,000,000	( 0 )	( 5,000,000 )
印刷製本費	3,560,000	2,369,482	1,190,518
給料手当	11,300,000	5,634,159	5,665,841
福利厚生費	1,560,000	399,086	1,160,914
旅費交通費	2,950,000	2,264,411	685,589
通信運搬費	780,000	80,611	699,389
消耗品費	380,000	98,817	281,183
賃借料	260,000	127,296	132,704
諸謝金	3,010,000	1,115,000	1,895,000
会議費	4,500,000	1,350,190	3,149,810
委託費	2,100,000	1,726,541	373,459
図書新聞費	100,000	35,240	64,760
広告宣伝費	340,000	11,641	328,359
雑費	100,000	207,908	△ 107,908
② 管理費	[ 9,930,000 ]	[ 8,250,538 ]	[ 1,679,462 ]
役員報酬	1,500,000	4,350,000	△ 2,850,000
給料手当	2,810,000	1,408,539	1,401,461
福利厚生費	390,000	99,771	290,229
会議費	1,240,000	788,471	451,529
旅費交通費	100,000	86,060	13,940
通信運搬費	120,000	44,928	75,072
消耗品費	90,000	24,613	65,387
賃借料	70,000	31,824	38,176
諸謝金	2,310,000	1,191,276	1,118,724
研究研修費	200,000	213,580	△ 13,580
雑費	1,100,000	11,476	1,088,524
経常費用計	70,870,000	23,670,920	47,199,080
評価損益等調整前当期経常増減額	0	485,742	△ 485,742
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	485,742	△ 485,742
当期一般正味財産増減額	0	485,742	△ 485,742
一般正味財産期首残高	2,044,132	6,938,105	△ 4,893,973
一般正味財産期末残高	2,044,132	7,423,847	△ 5,379,715

(単位：円)

科 目	予算額 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	決算額 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)	増 減
II 指定正味財産増減の部			
基財受取利息	9,000,000	2,467,692	6,532,308
基財受取配当金	87,210,000	43,605,000	43,605,000
当期基本財産評価損	0	316,612,541	△ 316,612,541
一般正味財産への振替額	△ 70,870,000	△ 24,141,382	△ 46,728,618
当期指定正味財産増減額	25,340,000	△ 294,681,231	320,021,231
指定正味財産期首残高	3,446,144,929	4,090,168,108	△ 644,023,179
指定正味財産期末残高	3,471,484,929	3,795,486,877	△ 324,001,948
III 正味財産期末残高	3,473,529,061	3,802,910,724	△ 329,381,663



Ⅶ-2. 収支計算書（収支ベース）（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

（単位：円）

科 目	予算額 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	決算額 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	[ 96,210,000 ]	[ 46,072,692 ]	[ 50,137,308 ]	
基本財産利息収入	9,000,000	2,467,692	6,532,308	国債・社債・公債
基本財産配当金収入	87,210,000	43,605,000	43,605,000	株式918,000株
(2) 雑収入	[ 0 ]	[ 15,280 ]	[ △ 15,280 ]	
受取利息収入	0	15,280	△ 15,280	
事業活動収入計	96,210,000	46,087,972	50,122,028	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	[ 60,940,000 ]	[ 15,420,382 ]	[ 70,299,167 ]	
支払助成金支出	25,000,000	0	25,000,000	
瀬戸内海支援助成費支出	( 25,000,000 )	( 0 )	( 25,000,000 )	
瀬戸内国際ソングフェスタ2013の準備活動費	5,000,000	0	5,000,000	
印刷製本費支出	3,560,000	2,369,482	1,190,518	
給料手当支出	11,300,000	5,634,159	5,665,841	
福利厚生費支出	1,560,000	399,086	1,160,914	
旅費交通費支出	2,950,000	2,264,411	685,589	
通信運搬費支出	780,000	80,611	699,389	
消耗品費支出	380,000	98,817	281,183	
賃借料支出	260,000	127,296	132,704	
諸謝金支出	3,010,000	1,115,000	1,895,000	
会議費支出	4,500,000	1,350,190	3,149,810	
委託費支出	2,100,000	1,726,541	373,459	
図書新聞費支出	100,000	35,240	64,760	
広告宣伝費支出	340,000	11,641	328,359	
雑支出	100,000	207,908	△ 107,908	
(2) 管理費支出	[ 8,930,000 ]	[ 8,250,538 ]	[ 679,462 ]	
役員報酬支出	1,500,000	4,350,000	△ 2,850,000	
給料手当支出	2,810,000	1,408,539	1,401,461	
福利厚生費支出	390,000	99,771	290,229	
会議費支出	1,240,000	788,471	451,529	
旅費交通費支出	100,000	86,060	13,940	
通信運搬費支出	120,000	44,928	75,072	
消耗品費支出	90,000	24,613	65,387	
賃借料支出	70,000	31,824	38,176	
諸謝金支出	2,310,000	1,191,276	1,118,724	
研究研修費	200,000	213,580	△ 13,580	
雑支出	100,000	11,476	88,524	
事業活動支出計	69,870,000	23,670,920	46,199,080	
事業活動収支差額	26,340,000	22,417,052	3,922,948	

(単位：円)

科 目	予算額 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	決算額 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)	差 異	備 考
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
(1) 特定資産取得支出	[ 0 ]	[ 21,931,310 ]	[ △ 21,931,310 ]	
特定事業引当資産支出	0	21,931,310	△ 21,931,310	
投資活動支出計	0	21,931,310	0	
投資活動収支差額	0	△ 21,931,310	21,931,310	
III 予備費支出	1,000,000	0	1,000,000	
当期収支差額	25,340,000	485,742	24,854,258	
前期繰越収支差額	6,792,505	6,792,505	0	
次期繰越収支差額	32,132,505	7,278,247	24,854,258	

## 収支計算書に対する注記

## 1. 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金・未収入金・有価証券・前渡金・仮払金・未払金  
前受金及び預り金を含めている。

## 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	300,484	0
普通預金	6,801,729	7,278,347
合計	7,102,213	7,278,347
預り金	309,708	100
合計	309,708	100
次期繰越収支差額	6,792,505	7,278,247

平成24年11月6日

公益財団法人 福武財団  
理事長 福武 總一郎 殿

公益財団法人 福武財団

監事 沼 澄夫



監事 尾 瓦 哲 洋



## 監査報告書

私たち監事は、平成24年4月1日から平成24年9月30日までの公益財団法人福武学術文化振興財団の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する第99条第1項並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事及び使用人等から財産の状況及び職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

### 2 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上